

しらすぎ通信

理念:「個の尊重」「安心と信頼」を大切に、
質の高いサービス提供を目指します。

第176号

■発行日:令和 2年 8月

■発行:指定管理者

公益財団法人横浜市総合保健医療財団

■発行責任者:総合相談室長 伊藤未知代

〒222-0035

横浜市港北区鳥山町1735番地

☎045(475)0103 Fax.045(475)0101



梅雨が明けた途端に猛烈な暑さとなりました。
今年は、換気に気遣い、マスクをしたり、いつもと様子の違う夏をお過ごしになっていらっしゃるかと。その上、マスクの保湿効果で、脱水に気付き難くなっているようです。より一層の水分補給を心掛けてまいりましょう。マスクも少しの涼を感じるため、ハッカ油を薄めた水をスプレーして、ミント特有のスーッとしたり、清涼感で気持ちよく息をするなど流行っているそうです。心地よく過ごす工夫を楽しみたいですね♪



9月の行事食

9月16日(水) 選択食 夕食時



秋の味覚を取り入れたメニューになります。

●肉団子の野菜あんかけ

又は ●魚のかば焼き (サンマ)

栗ご飯・シルバーサラダ・フルーツカクテル缶



9月21日(祝) 敬老の日 昼食時

赤飯・天ぶら盛り合わせ・野菜の炊き合わせ・

春菊の菊花和え・すまし汁 (花麩、みつば)・

季節の果物 (なし・巨峰)



職員リレー

～主任会ご紹介～

高橋明美
副主任



雨の日が続きましたが、ようやく梅雨明けとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

こんにちは。3階診療所病棟、看護副主任の鍋倉由美子・高橋明美です。診療所病棟では経腸栄養や吸引などの医療処置を必要とするご利用者さまの病状管理、生活の支援をしています。感染予防のために日頃から「一動作一手洗い」の基本をより一層守り、日々のケアに対応させていただいております。現在直接の面会ができない状況が続いておりますが、ご家族の話をするとご利用者さまに笑顔がみられます。普段お話ができないご利用者さまでも家族の声を聞くと安心されるので、オンライン面会も是非ご活用ください。

鍋倉由美子
副主任



認知症専門棟、介護副主任の野崎和男です。

この介護現場において、新型コロナウイルス感染防止対策の3密の1つである「密接」は避けることができません。介助歩行、食事介助、入浴介助をはじめ、ご利用者様が安心できるように隣に寄り添うこと、ご利用者様に触れる場面が数多くあります。そのため、手洗い、うがい、マスクの着用、消毒はもちろん、私自身が感染しないよう、不要不急の外出を控え、買物は事前買う物を決め、手早く済ませることを心がけること、またはインターネットを利用して人との接触を避けています。私自身が感染しないことが、ウイルスを「持ち込まない」ことにつながり、ご利用者様の生活、命を守ることに繋がると思い行動しています。今後も、自身が「感染しない」「持ち込まない」ように心がけていきます。

野崎和男
副主任



7月の行事食の様子 ～土用の丑の日～



美味しいわ～

理美容の再開のお知らせ

この度、感染予防に細心の注意を払った上で、理美容の再開を致します。お申込用紙でご依頼の受付をさせていただきます。

総合相談窓口へご持参か、郵送又はFAXでお願い致します。



屋上庭園散歩



あつ〜い!

外に出て、
風が気持ちいい〜♪



久しぶりのお散歩は楽しかったわ〜!



感染防止対策について

接触感染を防ぐには・・・

新型コロナウイルスの感染経路のひとつに「接触感染」があります。

人は無意識に顔を触っています。(1時間に平均23回)

手洗いのすすめ

水とハンドソープでウイルスは減らすことができます。

※1時間に平均23回触っている内の・・・



そのうち、目、鼻、口などの粘膜は、約44パーセントを占めています!

手洗いのすすめ

水とハンドソープで、ウイルスは減らせます!



出典:厚生労働省 HP

手洗いのタイミングは「外から帰った時」「咳やくしゃみ、鼻をかんだ後」「食事前」「外にあるものを触った後」などです。何かに触れた手で、顔を触らないことが重要! 手洗いができない場合は擦り込み式アルコール消毒剤を使用しましょう。

看護部感染褥瘡委員会